

川越市教育委員会第8回定例会会議録

1 会議の場所 川越市教育委員会 教育委員会室

2 開 会 令和8年9月25日 午後2時

3 閉 会 令和8年9月25日 午後4時

4 教育長並びに出席した委員

新保正俊 飯島希 岡本紘子 鈴木朗 大石懷子

5 欠席委員 なし

6 教育長の職務を行った者 教育長 新保正俊

7 説明のため出席した者

・副教育長兼教育総務部長 今野秀則

(教育総務部)

・副部長兼教育総務課長 西野裕

・教育財務課長 水村将晃 ・地域教育支援課長 吉野泰弘

・文化財保護課長 粕谷勝 ・参事兼中央公民館長 檜田麻実

・参事兼中央図書館長 羽生田奈々絵 ・博物館長 鍛冶良知

(学校教育部)

・部長 早川美彦 ・副部長兼学校管理課長 馬場雅史

・参事兼教育指導課長 粕谷英之 ・学校給食課長 依田俊一

・参事兼市立川越高等学校事務長 松本秀規

・参事兼教育センター所長 大澤崇

・学校管理課副参事 發智祐助

8 前回会議録の承認

令和8年度第7回定例会会議録を承認した。

9 議題及び議事の概要

○議案第30号 令和9年度当初教職員人事異動の方針・細部事項について

(副部長兼学校管理課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

基本方針（４）にある「個々の能力、適性等を考慮し、管理職への積極的な登用に努める」という部分は、女性教職員に限ったことではなく、男性も同じであると考えます。県に準じて策定していると思うが表現等について検討してもらいたい。

(副部長兼学校管理課長)

表現方法等については、今後検討していきたい。

(教育長)

川越独自の部分を教えてもらいたい。

(副部長兼学校管理課長)

方針の冒頭部分にある「第四次川越市教育振興基本計画」及び本市の求める教師像「活力に満ちた教職員」を踏まえ、郷土川越への愛着を持ち、「川越授業スタンダード」に基づく授業実践等、児童生徒の学びの充実に意欲的に取り組む教職員集団を形成して、学校教育に対する市民の期待に応える」という部分に本市の独自性を表している。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第３１号 川越市教育委員会公印規則の一部を改正する規則を定めることについて

(副部長兼教育総務課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

焼却以外のその他適切な方法による処分方法とはどのようなものか。

(副部長兼教育総務課長)

これまで処分したことはないが、形を残さないように、砕くような方法を想定している。

(教育長)

副教育長印を使うケースはどのような時か。

(副部長兼教育総務課長)

これまでに必要となったケースはない。教育総務部と学校教育部の両部を統括している副教育長の立場として、使用することが今後想定されるため、作成するものである。

(副教育長)

教育長に事故がある際は職務代理者がその職務を代理することとなる。その際、さらに職務代理者からの委任を受けて副教育長が事務を行うこととなった場合に必要となることが想定される。

【全員異議なく原案どおり決定】

○議案第 3 2 号 教育委員会の決裁権限を教育長が臨時に代理したことの承認を求めることについて（和解案について）

【非公開】

○議案第 3 3 号 川越市河越館跡整備検討委員会委員を委嘱することについて

【非公開】

1 0 報告事項

(1) 川越市小中一貫教育の推進について

(副部長兼学校管理課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

計画を細分化することで事務方や教員のやるが増えてしまうイメージがある。働き方改革が一方にあり、教員が効率的に教育に集中して向き合うことができるのかについての懸念がある。

(副部長兼学校管理課長)

ある程度項目を絞り込んで、学校が取り組みやすいように進めていきたいというのが今回の趣旨である。

(委 員)

地区の整備について、学区が重なっているところの P T A は大変なの

で配慮してもらいたい。

このビジョンをどのように保護者に知らせていくのか教えてもらいたい。

(副部長兼学校管理課長)

ホームページ上での公開を予定しているが、その前に各校長にしっかりと説明を行っていきたいと考えている。

(委 員)

以前、卒業生と一緒に小学校の教員が中学に上がってきたことがあり、9年間の学びが連続になり大変良かったと聞いている。教員免許の問題もあると思うが、人の流れが小中一貫教育の質を上げると思うので、人事上の取組も考えてみてもらいたい。

(副部長兼学校管理課長)

令和8年度は、交流人事として小学校から中学校へ行った教員は1名いる。そのような取組は重要なことと捉えているので、検討していきたい。

(教育長)

小中一貫教育の一番のポイントは、教員の人事交流である。小・中学校両方の免許を持っている教員をもっと増やさなければならない。岐阜県各務原市では、全市小中一貫教育であり、小・中学校両方の免許を持っている教員の比率が高いと聞いている。

(委 員)

「15の春」というフレーズはとても良いと思う。小・中学校での取組が15歳以降にどのように活かされることを目標としているのか。

(副部長兼学校管理課長)

「夢・志をもって学び続ける」や「人や社会の役に立つことを喜びとする」の部分が目標となると考えている。その先は、教育振興基本計画に立ち戻って、確認していくことになる。

(学校教育部長)

最終的に川越市が目指すものは、教育振興基本計画であるので、ぶれ

ずに取り組んでいきたい。

(2) 令和 8 年度全国学力・学習状況調査及び令和 8 年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

(参事兼教育指導課長)

【資料をもとに説明】

(委 員)

個人的には、児童生徒質問紙調査結果が大事だと思う。川越授業スタンダードがどの程度浸透しているか、数字の低下のみを問題視するのではなく、学習意欲や自己肯定感など、数字の裏の见えない部分などの評価もあったらよいと思う。

(参事兼教育指導課長)

「川越市学力向上プランとの関係」にもあるが、川越スタンダードの評価は肯定的なものが得られたと考えている。

(教育長)

英語の 5 ラウンドシステム導入の成果をどのように捉えているか教えてもらいたい。

(参事兼教育センター所長)

昨年度からモデル校で実施しており、成果が出ている学校もあれば、まだまだこれからのところもある。

(委 員)

質問紙調査結果の「難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している」の数値が中学生になってもそれほど低下しておらず、非常にいい結果が出ていると読み取れた。感情と思考の両方を評価してもらいたい。

(委 員)

他市町村と比べると、教科書も違い、授業へのアプローチ方法も違う。学年ごとのカラーも違い、一概に県と比べられない部分もあるため、数値の差にはこだわっていない。こどもたちが 1 年ごとにどのように成長しているかが大事であると考えている。

(参事兼教育指導課長)

単年だけではなく、9年間というスパンで見たときにどうだったかについても評価をしていきたい。

(委 員)

読書の重要性、学校図書館の充実や読解力の重要性を強調しておきたい。

(3) 学校給食における協働事業について

【非公開】

(4) 市内小学校におけるいじめ重大事態の発生について

【非公開】

1 2 その他

- (1) 議案第32号、報告事項(4)は個人に関する情報にあたり、議案第33号は性質上公開になじまない事務事業に関する情報にあたり、報告事項(3)は意思決定過程における情報にあたることから、これらの審議に係る会議を公開しないことについて、全出席委員が承認し、当該審議等については非公開として取り扱うとともに、報告事項(4)は関係理事者(教育総務部長、学校教育部長、教育総務課長、学校管理課長、教育指導課長、教育センター所長)のみで審議することに決定した。
- (2) 議案第30号の関係者として学校管理課副参事の出席について、全出席委員が承認し出席が認められた。
- (3) 会議録の署名委員として鈴木委員、大石委員が指名された。
- (4) 次回教育委員会は、令和8年10月21日(水)午後2時開会に決定した。